

NO.	種名称 (学名)	カテゴリー	解説	生活	声	見分け方	時期												参考文献	
2	ハジロカイツブリ Podiceps nigricollis	カイツブリ目 カイツブリ科	くちばしが上に反り、顔の後に目立つ白い部分がある小形のカイツブリ類。ユーラシア大陸、アフリカ、北米、南米の主に温帯に、互いに離れたいくつかの繁殖地を持ち、日本には中国東北部からウスリーにかけて地力で繁殖するものが、冬鳥として各地に渡来する。	他のカイツブリ類と同時に潜水が巧みで、魚、甲殻類、昆虫類などを餌とし、植物質のものも食べる。越冬地では岸近くの海上や河口で見られることが多く、川の下流部や海に近い湖などに入ることがある。単独ないし数羽でいることが多いが、時には数十羽の群れをなし、次々に潜水する活発な行動が見られる。	夏期、繁殖地の北ヨーロッパでは「キキキー、キキキー」というきしるような声を出したり、「ウィーッ、ウィーッ」という柔らかな低い声で鳴くのを聞いたことがある。しかし冬期にはほとんど鳴かず、「ウィー」とか「ピーッ」という声をごく稀に出すだけである。	アカエリカイツブリなどと比べると全体に小形で首が短く、カイツブリよりは大きく冬羽では茶色味がない。もっともよく似ているのはミミカイツブリだが、ハジロカイツブリにはくちばしが上に反ること、首の前面が汚れた灰色をしていることで見分ける。		1	2	3	4	・	・	・	・	・	10	11	12	山溪カラー名鑑『日本の野鳥』：山と溪谷社